

抄録用原稿

永生病院 認定栄養ケア・ステーションの取り組み

管理栄養士 大槻 優紀（オオツキ ユキ）永生病院 認定栄養ケア・ステーション
大澤美香（オオサワ ミカ）、岡部 貴代（オカベ タカヨ）、山本 徹（ヤマモト テツ）

「認定栄養ケア・ステーション」とは、栄養ケアの業務を行う適格性を有するものとして、公益社団法人日本栄養士会の認定を受けた、地域密着型の栄養ケアの拠点です。地域での食育・健康づくり、疾病の予防、そして治療から介護まで、「切れ目のない食生活の支援」を提供します。当認定栄養ケア・ステーション（以下栄養CS）は、2019年4月1日に設置しました。今回、当栄養CSの取り組みと2022年4月から2023年1月までの実績を報告します。

栄養CSの業務は大きく2つあります。

1. 医師の指示を受けて、疾患を持つ患者へ栄養食事指導を実施します。（）内は実績。

①訪問栄養食事指導（104件）

②通所リハビリ利用者への栄養相談（栄養改善加算：38件）

③クリニックでの外来栄養食事指導（24件）

④認知症グループホームの介護職員などへ栄養・食生活に関する助言や指導

（栄養管理体制加算：月1回）

2. 高齢者の介護予防のため、食の専門職として地域で活動します。

八王子市から受託した事業は2つあります。

- ①食ナビ訪問：リハビリ・栄養・口腔等の専門職が、対象者の自宅を訪問しアセスメントを実施、本人に適した支援の紹介や元気な暮らしに戻るための助言をする事業です。

この事業には、3つの類型があります。

1) 食ナビ同行訪問（25件）：65歳以上で要介護認定を受けていない方に、ケアマネジャーと同行してご自宅へ訪問し、ご本人に適した支援を紹介します。

2) 地域ケア会議（30件）：高齢者あんしん相談センターが開催する会議で、地域の課題を知り、高齢者が自立した生活を送るための助言を行う。

3) 住民主体の活動への支援（4件）：住民主体の活動（高齢者サロンやサークル等）における、栄養に関する観点から団体活動を支援する。

- ②食楽訪問（63件）：「楽しく・楽に食べられること」の習慣化に向けて、自分の力で食生活を楽しく続けていく方法を身につける「面談」中心の3カ月間の支援。

他にも、市内団地内で健康教室や健康相談を受けの一員として活動しています。

今回の取り組みを通して、地域住民やケアマネジャーをはじめとする介護関係者に栄養ケアの必要性に対する認識が広がるように、地域で顔がみえる管理栄養士として今後も活動を広げていきたいと考えています。